

[061] 史淵表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2335118>

出版情報：史淵. 61, 1954-06-10. Faculty of Literature, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

史學懇話會報

史學懇話會

第六十五回 二月一日(月)於大會議室

今回は折よく御來學された京都大學教授田村實造氏にお願いして、北方民族世界と中國世界の歴史的連關の問題につき、御研究の一端を聽かしていただいた。熱心な質問も出て、盛會であつた。

第六十六回 二月八日(月)於大會議室

卒業論文構想發表

明治時代における日本労働運動の發展について

藤本桂史

第一革命期における歐露の農民運動

西嶋有厚

第一革命期における歐露の農民運動
—その原因についての考察—

西嶋有厚

日露戰爭當時勃發した第一ロシア革命において巨大なエネルギー

一を發揮したヨーロッパ・ロシアの農民運動の起因はどこに求め

られるべきであるか? この農民運動をロシアの歴史的發展の獨自

の合法則的現象として捉えんとし、農民運動の時間的空間的分

布、運動の諸形態、地域的差別性等を分析して、その原因に觸する

從來の不徹底な諸見解を批判しつゝ、それが當時ロシア農村社會の内部に歴史的に形成されつゝあつた矛盾そのものに求めらるべき事を明かにして、農業資本主義の生地所有諸關係に及ぼした諸影響よりその根本的矛盾が、中世的士地所有諸關係が温存され

る一方、農業に商品經濟と資本主義の道が開かれた結果生じた、舊い生産諸關係と新しい生産諸力との間のロシア獨自の形態の矛盾である事を結論づけたものであり、今後の研究の出發點をなすものである。

昭和二十八年度卒業論文題目

國史學科

中世における松浦黨の變質過程に就て

瀬野精一郎

道理の考察—平安時代・鎌倉時代に於ける—

長洋一

大友氏の研究—鎌倉時代に於ける—

藤井賢三

明治時代における日本労働運動の發展について

藤本桂史

「藩政改革」試論

前山博

東洋史學科

五代楚國の國外貿易について

田籠楠雄

洪武三十年の所謂「遼東海運廢止」についての一考

吉田早苗

西洋史學科

十八世紀初期の英國木綿工業の考察

古城宏一

第一革命期におけるヨーロッパ・ロシアの農民運動
—ランカシャー地方について—

西嶋有厚

第一革命期におけるヨーロッパ・ロシアの農民運動
(一九〇五年—一九〇七年)

馬場典明

ローマ共和制末期に於ける賃借地經營
—特に屬領シキリアの奴隸反亂と大土地所有の面
から見て—

國史學科の動向

まない。

卒業生 賦餌會

二月五日（金）午後六時より三畏閣において恒例の豫餌會を行ふ。竹内・箭内・西尾・檜垣各先生以下一同こそつて卒業生五君の前途を祝福し、その健康と多幸を祈つて夜九時に及び、盛會であつた。なおこの日は朝から雪がちらつき、夕方には積雪をみて、送別の宴は殊に印象的であつた。

二十九年度進學轉科學生

四月十二日（月）午前十時より文學部第二番教室において進學式が行われ、次の諸君を當學科に迎えた。

片岡英輔、竹内チヅ子、田中友子、野口喜久雄、平野武裕、光野忠幸、村岡隆、山尾勇三（以上進學）
福永俊一（英文學より轉科）

二十九年度入學大學院學生

瀬野精一郎、長洋一（以上九大文學部）原田重（熊本大法文學部）

歡迎會

四月二十三日（金）午後五時より三畏閣において今年度進入學生諸君のために歓迎の一夕をもよねす。諸先生以下出席者二十六名の多數に及び、非常な盛會であつた。

人事

昭和廿三年十月以來五年有餘の間、特に西日本史學會の創草期の多事な研究室を守つてこられた船木勝馬助手は、三月末日を以て退職された。戰後文字通りの再建の時期に當つて氏の盡された陰の努力は大きなものがあつた。雑誌「東洋史學」の創刊もその一つであり、今日數少い西域史研究者としての氏の貴重な論稿もこれに掲載せられた。舊來に見られぬ多數の學生を擁することとなつた今日、氏の退職は惜みても餘りあるが、今後の精進を期待して已まぬ次第である。

本年度の進學者は荒木弘明、石井久行、具島美知子、櫻昌、平野宗一郎の諸君、大學院には三月卒業の田籠楠雄、吉田早苗兩君を迎えた。

第三十四回研究會 二月六日（土）
明洪武三十年の所謂遼東海運停止についての一考察 吉田 早苗
第三十五回研究會 三月三十一日（土）
五代楚國の中原貿易について
(要旨はいづれも東洋史學十輯彙報)

田籠 楠雄

新 東洋史學 刊

昭和二十五年四月以来、國史研究室にあつて多くの成果をあげられた研究獎學生鈴木鉄彦氏は、今回愛知學院大學講師になられ、三月二十七日赴任された。氏の健康と今後の活躍を祈つてや

遼東馬市起源

江 島 淳 雄

大唐租調惑疑

乾と濕附白 — 唐宋用語調の七一
宋史食貨志譜注

東洋史學 第十輯 昭和廿八年五月刊

唐宋混亂史稿

唐宋混亂史稿

日野開三郎 研究室員

東洋史學筆者別索引

西洋史學科の動向

人 事

日本西洋史學會第五回大會開催準備と西日本史學會の事務とい
う激務にもかゝわらず、熱心に研究を續けられた加藤知弘助
手は、四月一日付を以て大分大學學藝學部に榮轉された。氏の榮
轉は喜ばしきことであるが、氏の如き良き指導者を失うことは我
々にとって寂しいことである。氏の今後の發展を期待する。尙
お、福本保信氏が四月一日付を以て助手に任命された。

本年度の進學者は市林集和、川崎博子、小林宏、柴田宏泰、本
村道生、安川正己、山本雅生、山本實紀、鹿島邦子の諸君、大學
院には井手伸雄、西嶋有厚、馬場典明の諸君を迎えた。

第三十四回西洋史研究會（一月十六日）

ロシヤ第一革命期における農民運動

第三十五回西洋史研究會（四月三十日）

ギルドソシヤリズムについて

加藤知弘氏送別會（四月六日）

四月一日付を以て大分大學學藝學部に榮轉された本學助手加藤

知弘氏の送別會を平尾にて催す筈であつたが雨の爲困惑途方に暮
れる我々の爲に服部先生が特に和白の御宅を開放して下さつた。
先生宅で暫し遊んでから和白濱に出た。夕刻、赤陽を背に受けな
がら鹽千刈に打ち興じ、やがて小波碎ける海岸沿いに白沙を踏み
ながら沙雉迄逍遙した。同氏の今後の發展を期したい。

九州大學西洋史學論集第二輯發刊（四月一日）

執筆者及びその題目は次の如くである。

十六世紀レスターイヤーに於ける農業經營

十六世紀イングランドの農民抗争

一時に「恩寵の巡禮」(Pilgrimage of Grace)に就いて

李尾昭忠

カルヴァン時代のジユネーヴに於ける教會と國家との關係につ
いて — 主として教會司法權をめぐつて — 外村民彦
デカブリストの性格に就いての一考察

昭和廿一年度史學關係講義題目

自四月
至十月

史學概論

史學理論史

李尾昭忠

國史特講

院廳政權の成立

竹内教授

古文書學

近世對外交涉史

同

日本思想史（明治時代）

幕末維新史

同

古文書學演習

西尾講師

竹内教授

特殊演習（太良同莊

貿易資料演習

同

箭内教授

箭内教授

國史	演習	特殊演習(近世貿易資料)	箭内教授	地理學	人文地理
西洋史	同	後期封建社會演習	檜垣講師	國語學史	國語學史
同	明治國粹論演習	西尾講師	國文學史	國文体發達史	日本近世文學史
特講	同	フランス產業革命史	小林教授	西洋哲學史	古代中世哲學史
中世英國史	同	中世英國史	藤原講師	西洋哲學史	西洋哲學史
アメリカ史	同	(未定)	服部講師	西洋哲學史	西洋哲學史
(未定)	演習	M. Weber: Agrarverhältnisse im Altertum	長講師	古代理論	古代理論
西洋史	同	J. kulischer: Allgemeine Wirtschaftsgeschichte Bd I	小林教授	西洋美術史	西洋美術史
東洋史	演習	M. Bloch Comment et pourquoi finit l'esclavage antique(Annales, janvier -mars 1947)	今來講師	中國哲學史	中國哲學史
東洋史	特講	唐宋税制史	藤原講師	東洋美術史	東洋美術史
同	宋初女真的山東來航	日野教授	印度哲學史	中國哲學史	中國哲學史
清朝入關考	同	清朝入關考	江嶋講師	南方佛教史	西方美術史
英國の東印度商會と阿片戰爭	同	近世日本外交史	江嶋講師	中亞佛教史	西方美術史
明末農民起義資料	同	國際公法學說史	江嶋講師	日本佛教史	日本佛教史
青銅器文化の諸問題	特講	西洋法制史	江嶋講師	花島講師	花島講師
考古學演習(一)	同	日本經濟史	江嶋講師	吉田教授	吉田教授
考古學	演習	農村經濟史	江嶋講師	高木教授	高木教授
考古學	同	日本經濟史	江嶋講師	秀村助教授	秀村助教授
考古學	同	農村經濟史	江嶋講師	倉澤教授	倉澤教授
考古學	同	日本經濟史	江嶋講師	永田助教授	永田助教授
考古學	同	農村經濟史	江嶋講師	谷口助教授	谷口助教授
考古學	同	日本經濟史	江嶋講師	楠本教授	楠本教授
考古學	同	農村經濟史	江嶋講師	加田教授	加田教授
考古學	同	日本經濟史	江嶋講師	山室助教授	山室助教授
考古學	同	農村經濟史	江嶋講師	千鶴教授	千鶴教授
考古學	同	日本經濟史	江嶋講師	伊藤助教授	伊藤助教授
考古學	同	農村經濟史	江嶋講師	西山教授	西山教授
考古學	同	日本經濟史	江嶋講師	吉田教授	吉田教授
考古學	同	農村經濟史	江嶋講師	秀村助教授	秀村助教授

受贈交換雑誌目錄

西郊文化	第六輯	杉並區役所	熊本史學會
經濟系	第七輯	關東學院大學	經濟科學
同	十七輯	經濟研究所	立命館大學人
史觀	十八輯	早稻田大學史學會	文科學研究會
同	四十一冊	廣島大學西洋史雜誌會	熊本史學會
西洋史學	一號	歷史教育研究所	講山口經濟學
同	四十二冊	廣島大學西洋史	日本人類學會
歷史教育	二卷一號	歷史教育研究	同
經濟情勢	二卷二號	聖心女子大學	同
同	二九三號	聖心女子大學	同
學論叢	第二集	三義經濟研究所	同
同	二九四號	大學生報	同
古代學	二九五號	大學生報	同
同	第二四輯	大學生報	同
上代文化	第二四輯	國學院大學考	東北大學經濟學會
同	六七號	國學院大學考	同
同	六八號	東北大學文學會	同
同	六九號	東京大學文學會	同
同	二九六號	東京大學史學會	同
同	二九七號	山口大學文學會	同
同	二九八號	山口大學史學會	同
同	二九九號	山形大學	史學研究
同	二九九號	山形大學	同
同	二九九號	山形大學	人文學研究
同	二九九號	山形大學	文藝思想
同	二九九號	山形大學	紀要
大和文化研究	二九九號	山形大學	人類學雜誌
同	二九九號	山形大學	史學
大和文化研究	二九九號	山形大學	同
同	二九九號	山形大學	同
同	二九九號	福岡女子大學	同
同	二九九號	大阪市立大學	同
同	二九九號	福岡女子大學	同
同	二九九號	大阪市立大學	同
同	二九九號	大阪歷史學會	同
同	二九九號	大阪歷史學會	同
同	二九九號	神道宗教會	同
同	二九九號	神道宗教會	同
同	二九九號	加藤次郎	同
同	二九九號	横濱市立大學	同
部	二九九號	横濱市立大學	山口大學經濟學會
東北大學文學	二九九號	學術研究會	同

史林同	橋論叢	史	史
登米郡北同	方村同	鹿大史學	鹿大史學
第五三號卷	第五二號卷	五卷五號	一
第五四號卷	第五六號	三十周年記念號	五月月號
第五五號卷	第五九號	四十九號	三月月號
第五六號卷	第五十二號	五十一號	二月月號
第五七號卷	第五十七號	四十八號	一月月號

京都大學史學會	京都大學史學會	同	同
東洋文化史學研究	東洋文化史學研究	同	同
地域社會研究會	地域社會研究會	同	同
奄兒島大學史地地理學教室	奄兒島大學史地地理學教室	同	同
和歌山大學經濟學會	和歌山大學經濟學會	同	同
岩手史學會	岩手史學會	同	同
民科歷史評論	民科歷史評論	同	同
東方古代史研究	東方古代史研究	同	同
人文學報	人文學報	同	同
地學雜誌	地學雜誌	同	同
國史學	國史學	同	同
北大史學	北大史學	同	同
京都大學東洋法學研究會	京都大學東洋法學研究會	同	同
東洋大學經濟學會	東洋大學經濟學會	同	同
滋賀大學經濟學會	滋賀大學經濟學會	同	同
東北大學學會	東北大學學會	同	同
龍谷史壇	龍谷大學史學會	第三八號	十四號
東洋學會	廣島史學研究會	第五三號	八十四號
愛知大學文學會	愛知大學文學會	第八輯	第三卷
文學論叢	文學論叢	一	一
學藝紀要	學藝紀要	一	一
歷史地理	歷史地理	三	三
東京史談	東京史談	二二號	二二號
廣島大學學藝	廣島大學學藝	第五三號	八十四號
東京教育大學社會科學學會	東京教育大學社會科學學會	第三八號	十四號
同志社大學文學會	同志社大學文學會	第三卷	三
熊本大學史學研究會	熊本大學史學研究會	一	一
同志社大學人文學會	同志社大學人文學會	一	一
大學史學會	大學史學會	一	一
東京地學協會	東京地學協會	一	一
天理大學人文學會	天理大學人文學會	一	一
東北史學會	東北史學會	一	一
東北大教養部	東北大教養部	一	一
東北史學會	東北史學會	一	一
東北大學國學學會	東北大學國學學會	一	一
東北大學國學學會	東北大學國學學會	一	一
東北大學國學學會	東北大學國學學會	一	一
東北大學國學學會	東北大學國學學會	一	一

美術研究所

東洋古美術文獻錄

東京史談

東京史談會

東京史談會

九州史學會本年度委員

問

顧同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

副委員長
會幹事

常任委員

員

編輯幹事

員

書記

同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同常任委員

九州史學會本年度委員

牧市石馬田長山福江今鏡竹小山西吉瀬菊山三服檜藤箭西日長重長

林井場籠 内本島來山内林尾嶋田 池口上部垣原内尾野沼松
榮精 陽開
集久典楠 洋正保壽陸 理勇有早一英宗正哲元 健太三賢後壽

久和行明雄一博信雄郎猛三郎三厚苗郎夫之利郎吉浩次郎郎海章吉

昭和二十九年六月八日印刷
昭和二十九年六月十日發行

史淵第六十一輯

編輯者 九州史學會
右代表者 日野開三郎

發行者 日野開三郎
印刷者 吉岡吉三郎

印刷所 吉岡綜合印刷所

福岡市第六番地

發行所 九州史學會
福岡市第六番地
九州大學文學部

福岡市第六番地

不許複製
禁轉載